

平成23年度 景観市民ワークショップ

第5回地区別ワークショップ開催！！

景観まちづくり

市民ワークショップ通信

第7号
編集・発行：伊勢原市
都市部都市総務課
平成24年3月28日

伊勢原南地区まち歩き

平成23年度景観市民ワークショップ

第五回地区別ワークショップ「伊勢原南地区まち歩き」が平成23年十月二十五日（火）に開催されました。今回は伊勢原南地区お勧めコースとして、「今でも自然や田舎の景観が残っている所を歩いてみよう！」と紹介された変化に富んだまちなみを、ワークショップ

のメンバーのほか、地域の方々にも御参加いただき、歩いてきました。

当日の行程は、伊勢原駅南口を午前九時に出発し、自徳院、八幡台石器時代住居跡、八幡神社「お化け道」、コスモス畑、湧水池などを見た後、伊勢原南公民館にて、意見交換を行い、約五時間半のまちあるきを無事終えることができました。意見交換の場では、昭和三十六年頃の伊勢原南地区の地図を見て、まちの変化を確認し、みなさん様々な思いを感じていたようです。

（二面に地図を掲載しています）



まち歩きの様子

まち歩き終了後、みなさんから今回のまち歩きを通じて感じた伊勢原南地区の景観まちづくりについて、お話を伺いましたので、紹介します。



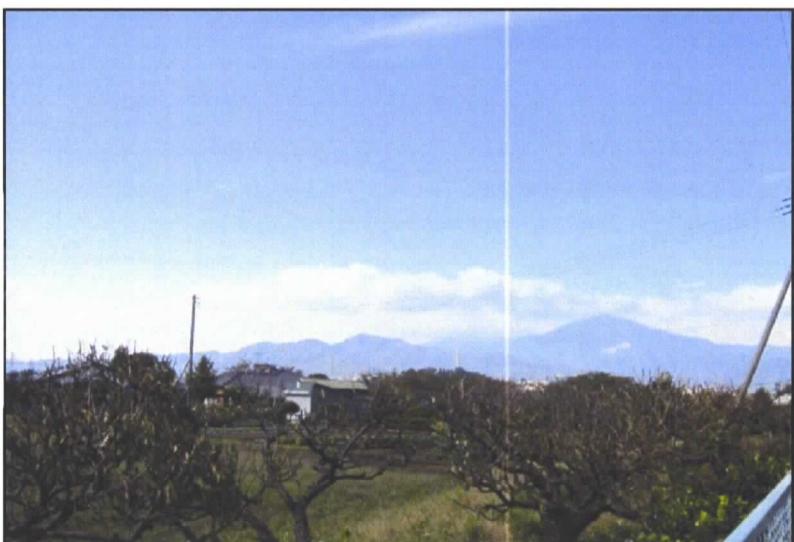
お化け道

この坂を下るとその先に、右下の写真のような石物がありました。昔のまちとまちとの交流を深めた道だったのではないかと、今は人気のない田舎道を歩きながら、残していくたい空間だなど感じました。

住宅街を抜け、少し開けた高台の先に、左の写真のような細い田舎道がありました。木漏れ日の差す、少し、ひんやりとした空気が、時間の流れを止めてしまつたように感じられます。薄暗く、少し湿り気のある雰囲気からか、「お化け道」と呼ばれているそうです。



大山の眺望



「アワコガネギク」
十一月頃みのり幼稚園の近くで咲くそうです。小さな花が密集し、泡のように見えるという名前前由来だそうです。
機会があつたら、ぜひ見てください！

編集後記

今回のまち歩きでは、駅前の商業地、東大竹、八幡台の住宅地、岡崎の田園風景など、変化に富んだまち並みの中を歩き、人々の生活と、身近な自然や歴史に触れることができました。垣間見える大山の眺望はあきるこぎりありませんでした。

▲意見交換▼

伊勢原八幡台石器時代住居跡

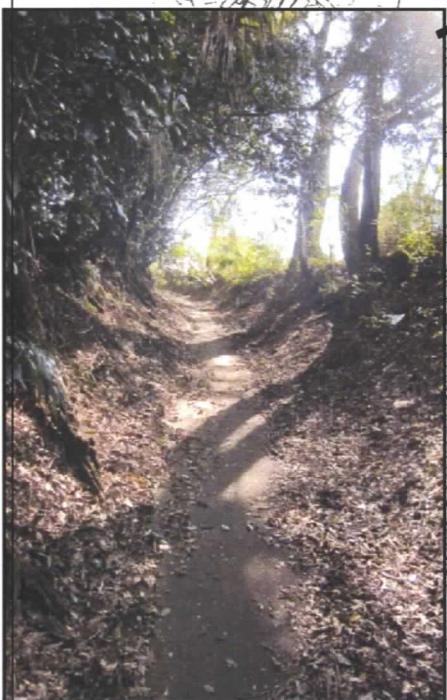
昭和9年に「国指定重要文化財」となっているこの遺跡の調査は、昭和7年に東大竹字山王塚の畠から縄文土器や板状の石が発見されたことに始まり、昭和8年に1箇所、昭和9年に1箇所と、それぞれ一基づつ敷石住居跡が発見されました。昭和8年に調査された第一号敷石住居跡（民地）では伊豆地方で採れる安山岩や日向や七沢で採れる凝灰岩が使われ、縄文時代後期の土器片が出土しました。また昭和9年に調査された第二号敷石住居跡では、東西に長い炉の後があり、縄文中後期の土器片が出土しました。（いせはら文化財サイト）伊勢原の指定文化財より抜粋）



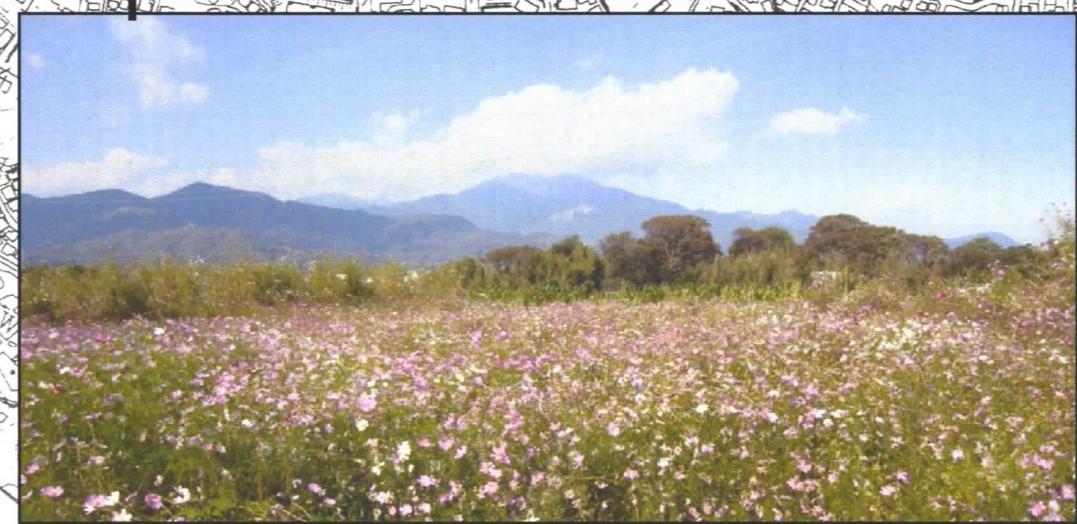
「第二号敷石住居跡」が残る
山王塚公園

伊勢原南地区お勧めコース

平成23年度



お化け道



富士・大山絶景地

コスモス畑



湧水池

